



凡事徹底

当たり前のことを当たり前

蕨市立第二中学校
学校だより
令和7年度
第6号(10月号)



体育祭に向けて

校長 椿 智絵

2学期が始まり、早1月が経とうとしています。今年度初めて蕨二祭を9月に実施することになり、夏休みを挟んで合唱の練習をすることに少し不安がありました。本番当日はどの学年、どのクラスも大変素晴らしい合唱を披露してくれました。審査員をしてくれた、埼玉県合唱連盟 築部 真美子 様からも、とてもレベルが高く大変感動しましたと、お褒めの言葉をいただきました。蕨二祭実行委員をはじめ、指揮者、伴奏者、パートリーダーを中心に一生懸命に練習してきた成果だと思います。素晴らしい発表をしてくれた生徒の皆さんに、お礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

また、9月末には新人戦二市大会もありました。部活動の主体が1・2年生に代わって初めての公式戦ということで、緊張した面持ちで試合に臨む二中学生の姿が見られました。二市大会を勝ち進み県南大会、県大会に進む部活動は、さらに上位を目指して頑張してほしいと思います。残念ながら勝ち進むことができなかった部活動も、今大会の良かったところと課題点をしっかりと確認し、次の大会では好成績が収められるよう、日々の練習に励んでほしいと思います。

そして、今月末には体育祭があります。まもなく体育祭に向けての練習も始まります。暑さは落ち着き、季節的にはスポーツの秋を迎え、運動に適した気候を迎えることになりますが、本番に力を発揮できるよう、体調管理は万全に準備をしてほしいと思います。

これから学級対抗で体育祭に臨む生徒の皆さんに考えてもらいたい話があります。ある学校の校長先生の話です。

以前顧問をしていた部活動の話で、A校は、B校よりも運動能力の高い生徒が多くいました。A校とB校、どちらのチームが戦力的に上だと思いますか。客観的に見た場合、A校の方が戦力的に上でしたが、結果はA校の成績：県大会ベスト16、B校の成績：県大会第3位、とB校の方が良い成績でした。

では、なぜB校の方が良い成績を残せたのでしょうか。答えは簡単です。B校の方が選手の仲がよかったのです。つらいときには励まし合う雰囲気がありました。そして、自分から考えて動ける生徒が多いチームでした。逆にA校は、運動能力が高い生徒が多かったのですが、互いを思いやる雰囲気が欠けていました。

チーム競技の場合、仲が悪いと自分の気分や好き嫌いでパスを出すこともあり、チームとして思ったような結果を出せないことがよくあります。個人のミスチームで挽回する、そんなチームをつくるのが大切です、という話でした。生徒の皆さんはどう思いましたか。

体育祭に向けて、それぞれのクラス、学年で、支え合い、高め合い、認め合う雰囲気をつくってほしいと思います。そうすることで、チームやクラス、そして個人としてもいい結果を残すことができると思います。

お知らせ

10月1日より、大矢初美先生が第二中学校に着任することになりましたので、お知らせします。

- 1～3年生 美術を担当します。
- 3年生副担任 ○ 美術部顧問



《学校教育目標》

自ら学び、深く考える生徒	(知)
心豊かで、思いやりのある生徒	(徳)
たくましく、健やかな生徒	(体)

蕨市立第二中学校

電話：048-443-2670 FAX：048-443-2671

URL：<http://www.warabi.ne.jp/~warabi-2/>

e-mail：warabi-2@warabi.ne.jp